



平成 27 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 アーバンライフ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 許 斐 信 男  
 (コード番号 8851 東証第二部)  
 問合せ先 取締役 山 本 敏 之  
 (TEL 078-452-0668)

平成 28 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 と 実 績 値 の 差 異 並 び に  
 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 27 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 28 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 3 月 期 通 期 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 の 差 異

(1) 連結業績予想と実績値の差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 1,300	百万円 210	百万円 170	百万円 150	円 銭 4.77
今回の実績値 (B)	1,413	324	281	271	8.62
増減額 (B-A)	113	114	111	121	
増減率 (%)	8.7	54.3	65.3	80.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	1,069	176	132	125	3.98

(2) 個別業績予想と実績値の差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 650	百万円 140	百万円 130	円 銭 4.13
今回の実績値 (B)	664	168	191	6.07
増減額 (B-A)	14	28	61	
増減率 (%)	2.2	20.0	46.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	620	135	126	4.01

## 2. 平成 28 年3月期通期業績予想の修正

### (1) 平成 28 年3月期連結業績予想(平成 27 年4月1日～平成 28 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,700	百万円 480	百万円 390	百万円 320	円 銭 10.17
今回修正予想(B)	2,800	550	460	400	12.71
増減額(B-A)	100	70	70	80	
増減率(%)	3.7	14.6	17.9	25.0	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	2,574	477	388	449	14.28

### (2) 平成 28 年3月期個別業績予想(平成 27 年4月1日～平成 28 年3月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,300	百万円 280	百万円 260	円 銭 8.26
今回修正予想(B)	1,350	300	300	9.53
増減額(B-A)	50	20	40	
増減率(%)	3.8	7.1	15.4	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	1,266	300	381	12.12

## 3. 差異が生じた理由および業績予想修正の理由

### (1) 第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異について

連結においては、販売代理・仲介事業セグメントにおける不動産仲介事業が好調に推移したことに加え、不動産販売事業セグメントにおける中古物件等の買取再販事業において、当初下期で売上計上を見込んでいた大型物件等の引渡が第2四半期までに前倒しで進捗したこと等により、当初業績予想を上回る実績となりました。また、個別においては、不動産賃貸事業における賃貸運営が順調に推移し、費用の低減も図れたことによる営業利益の増加、所有する賃貸用不動産の一部を処分したことによる特別利益の発生、過去に評価減を行った物件の売却による税金費用の低下等により、当初の業績予想を上回る実績となりました。

### (2) 通期業績予想の修正について

連結・個別ともに、第2四半期累計期間の好調な進捗を受け、買取再販事業における第2四半期への売上前倒し移転はあるものの、全体として当初の通期業績予想を上回る見込みとなったため、業績予想の修正を行うものであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上